



河 かわ
西 にし
歩 ほの
果 か
さん



憧れの報道番組キャスター 中大4年生が日テレ 「news zero」で奮闘中

学生記者 山田 亮太郎(法学部4年)

番組改編の10月から始まった日本テレビ系列の報道番組「news zero」(月～木23:00、かわにしほのか金23:30)のキャスターに、中央大学法学部4年生が名を連ねている。河西歩果さんがその人で、毎週木・金曜に「カルチャー」&「天気」担当として出演中。メインキャスター・有働由美子さんとの掛け合いもこなす。

天気コーナーは視聴者が気にしている、あすの予報を分かりやすく伝え、カルチャーではインタビュアーとなる。「憧れていた」という初の報道番組の評判は上々で、現役学生と知って驚く人がいる。既にプロ級の仕事をしている。

一生懸命なあまり、勇み足のときがあるという。インタビュー時、「相手の話に聞き入り、真顔になってしまいます。テーマが自分の関心と重なると特にそうです」

とことん知りたいという取材者の意気込みを感じる。SNSでのコミュニケーションが増え、面と向かって話す機会が減っている現代で、「face to face」で話すインタビューは大事だと話す。

キャスターへの道の第一歩は、ミス中央大学・コンテストだった。自己アピールに備え、自分の強みや弱みを徹底的に分析した。ミス中大とは縁がなかったが、現在所属する事務所から声がかかった。

憧れの人は、オリンピックや世界選手権で大活躍したフィギュアスケートの浅田真央さん。演技が成功しても失敗しても話題になった。オンリーワンの個性派、浅田さんに惹かれる。

自らもフィギュアを高校卒業まで13年間続けた。朝4時30分に起床、6時からの練習後、リンクから自転車で学校へ。午後にはスケート場に戻り、そのまま21時まで練習する。フィギュアのシーズンは冬。「忍耐力は、あるほうです」。

実力は全日本強化選手レベル。「負けず嫌いでもあります」

フィギュアのほか、水泳、クラシックバレエ、ピアノ、書道と小さい頃から多くのことにチャレンジし、多くの経験を積んできた。

今はさまざまな人に取材したいという一方、将来はフィギュア取材に関わってみたいと語る。自身が選手であった経験から、リンクから上がってきた選手たちの表情を見て、口には出さない気持ちが伝わってくるという。

望んでいた報道番組の仕事。さらなるステップアップに向かっていく彼女の姿を見守っていきたい。